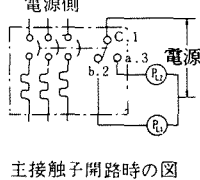
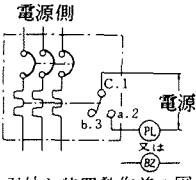


●補助スイッチ・警報スイッチ

付属装置	使用例	
	接 続	目 的
補 助 スイッチ (S)	 電源側 主接点開路時の図	しゃ断器の主回路開閉機構に連動して動作するマイクロスイッチを使用して、しゃ断器がOFFのときはPL₁が点燈し、しゃ断器がONのときにはPL₂を点燈してしゃ断器のON—OFF状態を遠方に電氣的に表示します。
警 報 スイッチ (P)	 電源側 引外し装置動作前の図	しゃ断器の引きはずし装置に連動して動作するマイクロスイッチを使用して、しゃ断器がトリップしたとき(回路に事故があったとき)のみ動作してPLを点燈またはBzを鳴らし、トリップ状態を電氣的に表示します。

▶しゃ断器がON, OFF 及びTRIP 状態における(S)と(P)の接触状態 ▶補助スイッチ(S), 警報スイッチ(P)の接点容量(A)

		ON OFF TRIP		
補助 スイッチ (S)	Sa—Sc 間	閉	開	
	Sb—Sc 間	開	閉	
警報 スイッチ (P)	Pa—Pc 間	開	閉	
	Pb—Pc 間	閉	開	

適用 電 圧	GB—3MC, GB—33C GB—223C (222C)® GB—54, GB—104				GB—53 (52), GB—63H (62H) GB—73 (72), GB—103 (102) GB—123C (122C) GB—223C (222C)® GB—253 ® GB—403C® GT—63C				GB—253 ® GB—403C® GB—603H LGB—603H, LGB—803F LGB—1003F, LGB—1203F GB—224, GB—404 GB—804, GB—1004			
	無誘導負荷		誘 導 負 荷		無誘導負荷		誘 導 負 荷		無誘導負荷		誘 導 負 荷	
	抵抗負荷 (A)	ランプ負荷 (A)	誘導負荷 (A)	電動機負荷 (A)	抵抗負荷 (A)	ランプ負荷 (A)	誘導負荷 (A)	電動機負荷 (A)	抵抗負荷 (A)	ランプ負荷 (A)	誘導負荷 (A)	電動機負荷 (A)
DC 30 V	4	2	3	3	5	3	4	3	6	3	6	4
DC 125 V	0.4	0.05	0.4	0.05	0.4	0.05	0.4	0.05	0.6	0.1	0.6	0.1
DC 250 V	0.2	0.03	0.2	0.03	0.2	0.03	0.2	0.03	0.3	0.05	0.3	0.05
AC 125 V	5	0.7	3	1.3	5	0.7	4	1.3	10	1.5	10	2
AC 250 V	3	0.5	2	0.8	5	0.5	4	0.8	10	1	10	1.5

▶リミットスイッチからの引出線(接続電線)

付 属 装 置	適 用	引 出 線 の 表 示			材 質	線 径	長 さ
		a 接 点	b 接 点	C O M			
補助スイッチ Ⓟ 警報スイッチ Ⓟ	GB-403C以下	黒	赤	白	耐熱ビニル 電 線	φ 0.18 30芯 0.75mm ²	400mm
補助スイッチ Ⓟ 警報スイッチ Ⓟ	LGB-603H以上 4極シリーズ	3	2	1			500mm
補助スイッチ Ⓟ 警報スイッチ Ⓟ		2	3	1			

●特殊機能(受注品)

〈万能保護ブレーカ GBA型〉

(第16回全国優良電設資材展 建設大臣賞受賞)

〈保護機能〉

〈反 相〉…電源側で反相になった場合に電動機の逆回転による機械の破損などの事故を防止します。

〈欠 相〉…電源側の欠相により不平衡電圧を生じますとしゃ断して電動機の焼損を防ぎます。

〈過負荷〉…過電流による事故を防ぎます。(3極, 3素子)

〈短 絡〉…ショートするとき配線を保護します。

〈漏 電〉…漏電による火災および感電事故を防止します。

〈感 電〉…定格感度電流30mAで0.1秒以内でしゃ断します。

〈積分形漏電しゃ断器 GBI型〉

(労働省産業安全研究所の発案を製品化)

〈保護機能〉

本器は、電撃危険を生体に流れた漏れ電流の大きさのみでなくその時間積分値に関係した量と考えて、漏れ電流時間積分値が電撃危険相当値に達したとき回路をしゃ断するもので、その回路構成は積分機能、回路しゃ断機能、積分値リセット機能、高速しゃ断機能を持っています。

〈適用場所〉

電撃危険相当値を定め、漏れ電流と動作時間の積分値がこの値以内でしゃ断するものであり漏れ電流に対する応動範囲が広く、反限時特性を持っておりしかも積分値リセット機能を持っているので、雷とか開閉サージによって瞬時的に大電流が漏れても積分値が小さいと動作しない特性である他、従来の漏電しゃ断器では保護できない漏れ電流の小さい領域での心室細動による感電死が防げる特徴があり、分岐回路を持つ主回路に本器1台を設置し、電路全体の電気設備からの感電死を防止するのに適しています。